



NEWS LETTER

名古屋YWCA 国際交流会
2019年6月

あっという間に6月に突入しました。これからうっとうしい梅雨もやってきますが、ひるむことなく楽しいことをたくさん計画・実行して、みんなで雨雲を撃退しましょう。

活動報告

おしゃべり広場

4月8日から新学期のおしゃべり広場がスタートしました。

25年くらい前日本語学校で勉強していたミャンマー女性の息子さんが来てくれます。

その頃は生まれていなかった彼がもう23歳！

月日の経つ速さと、私たちが変わらずに長く続けてきた意義を感じさせられました。

フランス人のマチュさんが遊びにきてくれました。

就職をして今とても忙しいですが、月曜日は休みなのでまた来てくださるそうです。

外国人が話す日本語サロン

「アジアンアメリカンの僕が見るアメリカ」

ゲスト：原 昌夫 さん

参加者：24名

名古屋大学関連

登録とNUFSAバザーは4月1週目に無事終了しました。

新しく東区に寮ができたため、東区役所への引率やそこでの手続きなど戸惑うことも多々ありました。これから少しずつ改良を重ねていけたらと思います。

関わられた方、お疲れ様でした。

その他

2018年度の会計報告を同封します。

書き損はがきの箱の中に未使用の切手が3,500円分ほど入っていましたので日本語学校に寄付をしました。

これからの予定

おしゃべり広場イベント

「抹茶をたててみよう」

日時：6月17日（月） 12：30～13：30

場所：1階日本語学校ロビー

毎回好評の茶道体験です。
みなさんも是非ご参加ください。



世界の料理

日時：6月24日（月） 12：30～

場所：2階料理室

講師：ドイツ人の女性

会費：材料費実費

持物：エプロン

お得意の Pasta 料理を教えてください。

外国人が話す日本語サロン

「シチリアで1週間過ごしてみようーイタリアー」

日時：7月6日（土） 10：30～12：00

ゲスト：サルヴァトーレ ピエーディスカルツィ さん（バイオリニスト）

素晴らしいバイオリンの演奏もあります。

詳細はチラシをご覧ください。

YWCA 関連

「まるっと OPEN DAY」

日時：6月29日（土） 11：00～15：00

場所：名古屋 YWCA ビッグスペース

YWCA のグループ活動を広く一般に紹介するイベントです。
国際交流会は活動の展示とミニ日本語サロンを行う予定です。
ミニ日本語サロンのゲストはインド人のプラティバさん。
20分くらいのスピーチをお願いしています。

事前の展示物の作成などにご協力ください。
もちろん当日少しだけの参加も大歓迎です。

ゲストの原昌夫さんは日本人(父親)とアメリカ人(母親)のご両親のもとにミズーリ州で生まれた。高校卒業までアメリカで、2年前に名古屋大学に入学、現在 G30 (Global 30) の法学部学生。アメリカで教育を受けながら、夏休み(6月~8月)の期間は東京、小田原、彦根、近江などで小学、中学、高校を体験。

アメリカの人口はおよそ3億2千万人。白人 60.6%、ヒスパニック人 18.1%、黒人 13.4%、アジア人 5.8% (アジア人の中で日本人は8%)

彼の住むミズーリ州カークスビル (kirksville) は人口 17,000 人、その内学生 7,000 人位の学生の街。彼の在学時にはアジア人学生は15人以下、日本人は1人。

アメリカの文化といえばアメリカンフットボール(Super Bowl)、ハリウッド映画、野球、パーティー文化(homecoming)など。

他には独立記念日(7/4)、ラップ(Rap)、Carsなど Street 文化がある。

彼が好きなのはスポーツ(サッカー、バレーボール、ダンス)、車、K-Pop など。

アイデンティティ (Identity) とはそもそも何?

他人と異なるまさにそのもの、自分にとって一番大切なもの、自分で見つけ、自分で決めるもの。

アメリカの Pop Culture に American Rap がある。Rap は黒人ベースの音楽スタイルで、社会問題などに反対、反論をうたう。現在は世界中に広まり、気持ちや考えを表す手段になっている。

J-Rap Miyachi(日本人とアメリカ人の両親、New York 生まれ)は英語と日本語を取り混ぜたラップ

K-Rap Flowsik はアメリカ韓流ラッパー。韓国語を混ぜたラップ。

車にも日本の車文化、アメリカの車文化があり、それぞれが運転スタイルや構造スタイル、カスタム・カー(特別仕様の改造車)等々により自己表現、自分のアイデンティティを見つけることができる。

アメリカの問題点

人種差別がまだ残っていて、黒人だけでなく、ヒスパニック系、アジア人も対象。中には、アジア人=中国人と思い、目が細くて小さく、吊り上がっていると目を持ち上げるしぐさをする人もいる。自分が人種差別をしていることに、気が付いていない。見下されているようで嫌な気持ちになるが、反応するとより見下されるのではと恐れる。もちろんサポートしてくれる白人もいる。

総じて彼は個人的には悪意のある人種差別にはあっていない。(バレーボール中、ボールが回らないようなことはあったが。)

アメリカのアイデンティティに対する考え

- ・白人対その他
- ・多文化であるが、その中でも差は明らか
- ・「何がアメリカ人なのか？」が、明らかになっていない
- ・“freedom 自由を大切にする” が、現実には矛盾している

日本のアイデンティティに対する考え

- ・日本人であることに誇りを持っている。良い点は自分の文化 **culture** に自信をもっているが、逆の見方をすれば、他の人種に差別的な傾向になりやすい。

大阪なおみさんは記者会見で、「私は私である。日本人らしくない。」と話す。彼は「僕って誰？」と自問自答し、「日本とアメリカの二つの文化を一緒にした結果が自分」と話された。

原昌夫さんは若く、自分のアイデンティティを真剣に模索されている様子に感銘しました。アイデンティティを表す簡潔な日本語が見つかりませんが、最近日本でも「自分探し」という言葉を聞くことがあります。

原さんには二つの文化を持つ幸せを感じながら、ますます大きく羽ばたいて行ってほしいと願っています。

※G30 の授業はすべて英語で行われます。

